

(一社) 公共建築協会 公共建築研究所

ウェブシンポジウム

医療施設最前線  
空調換気の現状・課題と  
感染症に対する  
新型コロナウイルス(COVID-19)等

新型コロナウイルス感染症が収束する兆しが見られない中、Withコロナ、Afterコロナ、Nextコロナといったことを目に、耳にするようになりました。そして、「3つの密の回避」をはじめとして今後の生活のあり方が色々と議論されています。

このような状況において、建築設備にはどのような課題がありどのように対応していくべきなのか、また、オフィスや住宅といった日常生活を送る空間において、空調や換気がどのようになっているか、新型コロナウイルスにどう対処するか、さらに医療施設ではハード・ソフトの両面からどのような対策で感染症との闘いに立ち向かっているのか、について3名の専門家の方々からお話を伺い、課題を共有し今後の方向性について考える機会となるよう、本シンポジウムを開催することといたしました。

主催 ● (一社) 公共建築協会

講演

「With コロナ After コロナでの  
建築設備エネルギーシステムの課題」

奥宮 正哉 (名古屋大学名誉教授)

「設備設計者から見た新型コロナウイルス対策」

宮坂 裕美子

((株) 日建設計 エンジニアリング部門  
設備設計グループ ディレクター)

「医療施設的环境と COVID-19」

寛 淳夫 (工学院大学建築学部教授)

質疑回答・ディスカッション

開催日時

2020 (令和 2) 年

12月11日 (金)

午後 1時30分 ~ 午後 4時

(開場: 午後 12時30分)

定員 ● 300名

申し込みウェブサイト ●

[https://register.3esys.jp/register/2020\\_pblabo\\_websympo/](https://register.3esys.jp/register/2020_pblabo_websympo/)

